

The Magic of ROTARY  
ロータリーのマジック

2024～25 年度年度  
国際ロータリー会長 Steohanie Urchick



## 東京麹町ロータリークラブ

### 本日の例会プログラム

第 14 回例会 2024.11.25 (#2429) 舞の間  
例会ホスト・紹介係 保科会員  
受付係 濱田会員 山内会員  
司会者 山田会員 ソングリーダー 地引会員

卓話「スポーツエージェント団・野村が見た世界」

スポーツエージェント 団・野村氏  
紹介者 荒川会員

### 前回の報告

第 13 回例会 2024.11.11 (#2428) 舞の間  
例会ホスト・紹介係 保科会員  
受付係 濱田会員 山内会員  
司会者 山田会員 ソングリーダー 地引会員

卓話「ガバナー公式訪問記念講演」

第 2580 地区ガバナー 石川 彌八郎氏  
紹介者 荒川会員

## 今期のモットー: 「親睦を通じて奉仕を実践する」

### 会長報告

- 1) 本日はガバナー公式訪問です。早朝から石川ガバナーをはじめ、須藤ガバナー補佐・木村地区幹事・浅川地区副幹事・荘村分区幹事にはお越しいただきありがとうございました。
- 2) 各委員長にはクラブ協議会で充実した討議をおこないました。
- 3) 当クラブではお会費から毎年ロータリー財団へ送金しております、累計で \$1000 おきに感謝のピンが届きます。前年度特別寄付された方にも感謝のピンが届きました。Pin 7: 新保会員、須藤会員 Pin 3 濱田会員 Pin 2 細谷会員、飯嶋会員 Pin 1 藤田会員 はじめてのPin 守屋会員、吉沢会員
- 4) 青少年交換学生の高瀬さん、米山奨学生の李さんが出席です。

### 幹事報告

- 1) 石川ガバナーをはじめ皆様には早朝より有難うございました。
- 2) 明日は食味会が御座います。レストランの関係で火曜開催ですが、登録された方はよろしくお集まり下さい。
- 3) 例会終了後に定例会理事会を開催いたします。該当の方はお残りください。

### 例会記録

会員総数 59名 出席会員数 29名  
ゲスト 3名 ビジター 2名  
その他 3名 海外ビジター 0名  
事務局 2名

### ニコニコボックス

荒川会員:ガバナー公式訪問宜しくお願いします。  
若林会員:ガバナー公式訪問ありがとうございます。クラブ一同大歓迎です。  
齊藤会員:石川ガバナーようこそ。本日はありがとうございます。  
荘村会員:ガバナー公式訪問ありがとうございます。  
加賀会員:KRGで今シーズン2回目のブービー賞。センスがないのかな・・・  
浅野会員:パートナー誕生日  
乳井会員:結婚記念日

### 次回予告

第16回例会 2024、12、2 (#2430)  
会場:舞の間  
例会ホスト・紹介係 山本会員  
受付係 地引会員 藤谷会員  
司会者 末竹会員  
ソングリーダー 山内会員  
卓話「変わる消費者！  
オタク化・孤独化の進捗と  
2030年の市場環境」  
(株)矢野経済研究所々長 松島 勝人氏  
紹介者 須藤会員

☆ 例会終了後、  
クラブ年次総会



## 英国大学院留学の成果報告

グローバル補助金奨学生 川本 直実さん(10/7 卓話)



私は、ロータリー財団よりご支援いただきグローバル補助金奨学生として、2023年9月より1年間ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス・アンド・ポリティカル・サイエンス(以下、「LSE」という。)へ留学させていただきました。LSEでは、国際公共政策

を専攻し、ジェンダー政策・開発政策・気候変動政策等について世界各国から集ったコースメイトと議論を重ねながら理解を深めました。留学中は現地のホストクラブの方々とも交流させていただき、学業以外の面でも充実した1年を過ごすことが出来ました。

### 留学のきっかけ

高校時代より途上国の経済発展過程等に関心があり、大学の学部では国際開発学を学びました。その中で、夏期インターンでウガンダへ滞在し基礎インフラの重要性を目の当たりにし、前職は途上国を含む海外へのインフラ事業等へ出融資を行う政府系金融機関に勤めておりました。前職の業務を通して途上国の電力事業をはじめとするインフラ案件に関わる中で、現地の女性やマイノリティの方々が、どのようにプロジェクトの恩恵をより多く享受できるかを考えるようになりました。そのため、人々の生活に直接影響を与える公共政策の視点から、女性や周縁化された社会的立場の弱い方への支援のアプローチを学ぶことができるLSEへの留学を決めました。

### 留学中の様子

留学先のLSEは、留学生が多い英国の大学院の中でも留学生の比率が高く、とても国際的な環境に身を置くことが出来ました。英国の授業スタイルはレクチャー(講義形式)とセミナー(討論形式)に分かれており、インプットとアウトプット両方に重きが置かれていました。特にセミナーでは、学生が毎週、授業前に関連する課題文献を約100ページ読み込んで理解を深め、その上で授業中に各自の考えを発展させながら議論が繰り広げられていました。様々なバックグラウンドのコースメイトの意見は、必ずしも一致する訳はなく、ジェンダーや紛争などに関連するセンシティブなトピックにおいては議論が白熱することもありました。それでも教授も生徒も対立する意見を含めて互いの意見を尊重し合う姿勢が印象的でした。

授業の中で、日本を含む東アジアの社会問題について取り上げられることも多く、特にジェンダー関連の社会課題については世界的に問題視されていることを強く感じました。そのため、国際開発援助では、被支援国(途上国)だけでなく、日本を含むドナー国のジェンダー問題についても理解を深める必要があると考えようになりました。

ドナー国・被支援国双方のジェンダー問題に焦点を当て、ため、「ドナー国におけるジェンダー平等が被支援国におけるジェンダー平等支援プロジェクトにどのように影響を与えるか?」というテーマで修士論文を執筆しました。日本を含む各ドナー国のジェンダー平等達成のために支援対象分野の傾向を調べ、

ジェンダー平等指数の高いドナー国ほど、女性の教育や女性の政治参加の支援に注力していることが確認されました。日本のジェンダー平等支援では、女性の政治参加に対する支援が他のドナー国と比べて低い傾向があり、今後はどのような改善策が取れるかを検討していきたいと考えています。

### ロータリーでの活動

留学中は、ロンドン北部の郊外にあるThe Rotary Club of the Studios of Elstree & Borehamwoodがホストクラブとしてサポートして下さいました。ホストクラブは会員が15名程度の比較的新しく小さなクラブで、アットホームな雰囲気でも温かく迎えていただき、留学中気にかけて下さったので常に安心して過ごすことが出来ました。ホストクラブの例会は、マナーハウスという中世の地主や貴族階級が所有していた邸宅をホテルに改装した歴史的な建物で開催されており、とてもイギリスらしさを感じました。

ホストクラブが主催するイベントにも積極的に参加させていただきました。障害者スポーツイベントやクリスマスチャリティなどを通してホストクラブの方々に加え、地元の方とも交流をすることができ、学外のコミュニティを広げる貴重な機会となりました。また、別のクラブと合同で開催されるイベントも多く、多くのロータリアンの方々に出会うことが出来ました。

ロンドンに留学している他のグローバル奨学生同士が交流するイベントも開催いただき、多様な志を持って研究に励んでいる各国からのグローバル奨学生とお話しをするのは多くの発見がありとても刺激的でした。他のグローバル奨学生とは今でも交流があり、尊敬し合い、高め合える仲間ができたことは大きな財産だと感じています。

日本・英国両国のホストクラブの皆さま、ロータリー財団の皆さまに多大なるご支援をいただき今回大学院留学という貴重な経験ができたことを深く感謝致します。この経験を活かして少しでも多く社会に還元して貢献できるよう引き続き邁進して参ります。



### 東京麹町ロータリークラブ

設立	1968年6月17日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204号 二
会長	荒川 和幸	TEL:03-3263-9220
幹事	守屋 幸作	FAX:03-3263-9122
公共イメージ 向上委員長	保科 充弘	e-mail office@koujimachi-rc.jp
		URL: www.koujimachi-rc.jp